

# 予算決算委員会

## 総務分科会

### 審査のポイント（議案第56号） 「平成27年度鈴鹿市一般会計補正予算（第2号）」

（問） 消防救急無線デジタル化整備費について、簡易デジタル無線機は、トランシーバーの登録局を利用したレシーバーを配備しているということによいか。

また、無線機について携帯型・半固定型などがあるが、それぞれの単価はいくらか。

（答） 簡易型デジタル無線機については、トランシーバーより少し精度が高い5ワットの簡易無線機である。この無線機は登録局に申請が必要となる。

無線機の単価については、携帯型のデジタル簡易無線機が1台約6万円、消防団車両および消防団待機所に設置する半固定型については、1台約7万円となっている。

## 文教環境分科会

### 審査のポイント（議案第56号） 「平成27年度鈴鹿市一般会計補正予算（第2号）」

（問） 稲生小学校施設整備の整備内容、費用内訳について。

（答） 増築する校舎棟の普通教室7教室に、学校環境衛生基準に規定されている教室の温度に適合させ、学校施設環境の改善を図るため、1教室につき、天井はめ込み形で5馬力（4.2KW）の室内機2台を設置する。費用1,260万円の内訳は、空調設備工事（空調機械、リモコン配線等工事）1,022万9,400円、配管工事（冷媒管、排水管施工等）237万600円である。

## 生活福祉分科会

### 審査のポイント（議案第63号） 「平成26年度鈴鹿市一般会計決算の認定について」

（問） 平成25年度に対して、平成26年度の応急診療所の利用の状況・受診者数の推移・内訳には、どのような傾向が見られたか。

（答） 平成26年度の応急診療所の受診者数は、小児科・内科・歯科含めて1万654人となっている。平成25年度については1万758名の方が受診しており、104人の減である。内訳についてはほぼ小児科と内科であり、比較すると若干小児科の方が多傾向にある。歯科については、平成26年度が124人、平成25年度は160人となっており、減少傾向にある。受診者数1万654人の中での鈴鹿市民の占める割合は、約83%であり、亀山市からの受診者が約8%、その他四日市市、津市からの受診者となっている。

## 産業建設分科会

### 審査のポイント（議案第63号） 「平成26年度鈴鹿市一般会計決算の認定について」

（問） みえ森と緑の県民税市町交付金についてどのような事業を行っているのか。

（答） みえ森と緑の県民税を活用している内容であるが、今回は枯れ松について126本伐倒している。そのほかには、樹幹注入という手法で松くい虫の防除をするため、116本の松に薬品を注入する作業を行った。